

数学教育学研究

Vol. 29 (1)

2023年9月発刊

【論文】

1. 小集団で数学を教える際に人間関係が与える影響について (pp. 1~15)
西宗一郎 (広島大学附属三原中学校 (広島大学大学院院生))
2. 複素数学習における数の承認に関するメタルールの変容過程 (pp. 17~39)
斎藤雄 (埼玉県立所沢高等学校)
3. 数学学習におけるプログラミングの居場所ーコラッツ予想を題材にした探究型学習を通してー (pp. 41~53)
岸本大 (早稲田大学大学院院生)
宮川健 (早稲田大学)
4. 「円上の格子点問題」の探求教材としての可能性 (pp. 55~68)
角倉慧一朗 (早稲田大学教育学研究科院生)
宮川健 (早稲田大学)
5. 高等学校数学A「条件付き確率」の導入場面の教材と授業 (pp. 69~83)
石橋一昂 (岡山大学学術研究院教育学域)
6. 数学教育における生徒の価値観形成に及ぼす教師の影響に関する研究(3)ー単元「関数 $y = ax^2$ 」における宮崎県教師Aの生徒の振り返りシートと質問紙調査の記述分析ー (pp. 85~99)
木根主税 (宮崎大学)
添田佳伸 (宮崎大学)
渡邊耕二 (宮崎国際大学)
7. 教師の習得的数学の意識, 発展的数学の意識に関する質問紙調査の実施とその分析ー秋田県小中高教員データの分析ー (pp. 101~117)
佐藤学 (秋田大学大学院教育学研究科)
8. 開発途上国教師が捉える日本の算数教育の特徴ー教員研修留学生5名の成果論文をもとにー (pp. 119~129)
石井洋 (北海道教育大学函館校)
9. 日本の数学教育研究者は国際ジャーナルの論文観から何を学ぶことができるか?ー論文の型についてのナラティブ・レビューを通じてー (pp. 131~146)
上ヶ谷友佑 (広島大学附属福山中・高等学校)